

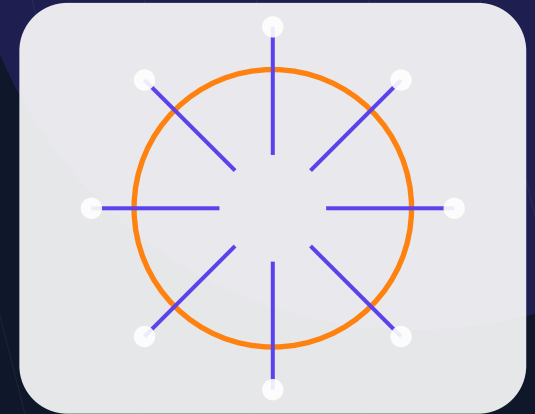


SELF DIAGNOSIS SHEET

AI/補助金チェック

AI導入前・補助金活用前チェックリスト

AI活用、業務効率化、補助金活用を検討する前に、目的、対象業務、データ、費用区分、公式情報確認の論点を整理するチェックリストです。



相談前に印刷・共有して使えます

1

AIで改善したい業務と、期待する成果を整理できます。

2

補助金活用前に確認すべき対象経費、時期、注意点を棚卸しできます。

3

初回相談で、技術要件、見積範囲、次の進め方を確認しやすくなります。



CHECK 10 ITEMS

セルフ診断項目

該当する項目にチェックを入れ、合計数から現在の状態を確認してください。

☐ 01 AIで改善したい業務、現在の手作業、困っている時間や品質課題を説明できる

☐ 03 利用したいデータの場所、形式、更新頻度、アクセス権限を把握している

☐ 05 AI研修、PoC、本番実装、運用保守のどこまで必要か仮説がある

☐ 07 概算予算、希望時期、社内稟議のスケジュールを整理できている

☐ 09 採択後の見積、契約、納品、検収、支払い、実績報告の流れを確認している

☐ 02 対象部署、利用者、推進担当者、決裁者を整理できている

☐ 04 個人情報、機密情報、社内ルール、セキュリティ要件を確認している

☐ 06 既存システム、AWS、API、データベースとの連携有無を把握している

☐ 08 検討中の補助金について、公募期間、対象経費、申請条件を公式情報で確認できる

☐ 10 補助金を使わない場合でも、小さく始める範囲や代替案を考えられる

スコア目安

0-3

まずは業務課題、利用データ、社内体制を整理する段階です。

4-7

AI導入範囲と補助金確認事項を分け、初回相談で具体化しやすい段階です。

8-10

見積範囲、技術要件、導入ロードマップの整理に進めやすい段階です。



NEXT ACTION

優先度メモと次の一手

診断結果をもとに、社内で整理することと初回相談で確認することを分けておくと、検討が進めやすくなります。

次に進めるための整理

診断結果から、最初に確認する順番を決めます。

1

業務整理

AIで変えたい業務、対象者、期待効果を1つに絞り、検討の出発点を明確にします。

2

制度確認

補助金の対象可否、申請条件、必要書類、締切は公式情報や制度窓口で確認します。

3

技術相談

AWS、既存システム、セキュリティ、見積範囲を確認し、実装可能性を整理します。

相談前メモ

空欄をすべて埋めなくても大丈夫です。分かる範囲だけ整理しておくと、初回相談で論点を合わせやすくなります。

AIで改善したい業務

検討中の補助金・公募時期

対象経費・見積範囲

初回相談で確認したいこと

診断結果をもとに、初回30分無料で優先度と次の一手を整理できます。



NEXT ACTION

診断後に確認できるページ

診断結果だけで判断しにくい場合は、相談・資料、匿名事例、技術への取り組みを確認し、初回30分無料相談で優先順位を整理できます。

01

相談・資料

資料、料金比較、匿名事例、初回相談をまとめて確認できます。

<https://wealthy-design.com/resources/>

02

匿名支援事例

近い課題の支援内容、成果、期間、料金帯を確認できます。

https://wealthy-design.com/case_studies/

03

技術への取り組み

AWS、IaC、AI、自動テスト、学習文化などの信頼材料を確認できます。

https://wealthy-design.com/technical_excellence/

初回30分無料相談

課題、必要サービス、概算費用、優先順位を整理します。

<https://wealthy-design.com/contact/>